

目次

常任委員会報告	2
議決結果・賛否一覧	6
陳情審査結果	6
一般質問通告一覧	7
議員連盟活動報告	10
議会改革進捗状況	12
計報・編集室より	12

ちの市議会だより

CHINO CITY COUNCIL REPORT

第4号 2013年2月1日

〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX.0266-73-7936

発行 / 茅野市議会編集 / 議会だより編集委員会 印刷 / 株式会社マイスター

茅野市議会

検索

<http://www.city.chino.lg.jp/>



『革新』

茅野市議会議長

小平吉保

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた、すがすがしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。日頃から、市議会に對しまして、ご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

茅野市では、多くの市民の皆さんの協力をいただき策定した「第4次茅野市総合計画(茅野市民プラン)」で「人も自然も元気で豊か 躍動する高原都市」を掲げ、市民総参加による「みんなでつくる みんなの茅野市」を合言葉に、市民みんなが主役となつて、まちづくりに取り組んでいるところであります。

しかしながら世界的な経済危機は、現在もなお市内の経済や雇用状況にその影響を及ぼしています。国においても昨年は衆議院の選挙があり、この選挙は日本の将来の方向を決めていく大変重要な選挙であり、これまでの政策が大きく転換されることが想定され、今までの国と地方との関係も大きく変化することが予想されます。

また、茅野市議会においては、昨年から開かれた議会を目指して議会あり方検討委員会を立ち上げ議会改革に取り組

り組んで参りました。市民の皆さんが安心して生活を送ることができるよう、私たち議員一人ひとりが福祉、環境、教育をはじめとした市政の課題を的確に認識し、私たちに課せられました責務を果たして参りたいと考えております。

結びにあたり、茅野市の発展のためご尽力を賜りました市民の皆様へ深甚なる感謝を申し上げますとともに、今年一年幸多い年でありますようご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

新副議長に

堀晃議員を選出



就任にあたり

副議長

堀 晃

前副議長の伊藤眞智子氏の急逝により、5月までの間副議長を務めることになりました。

世は当下山の時、国においては返り咲いた新政府の元、どんな政策が展開されるのだろうか。私たちとしては、地域主権が現実のものになり得るのかを試されるのではないだろうか。

議会は、議員のためにあるのではないことを肝に銘じ、市民全体の代表であるとの立場を忘れずに改革を進め、寛仁大度を旨として任務に当たりたいと思います。

ご指導ご協力の程お願いいたします。

平成24年12月定例会

条例制定の議案に質疑が集中

茅野市議会12月定例会では、市側提出案件15件、陳情3件を審議しました。12月7日の議案質疑で議員からの質問が集中したのは、「茅野市たぐましく、やさしい夢のある子どもを育む条例について」(以下「子ども条例」と)「茅野市暴力団排除条例について」です。

特に「子ども条例」については9名の議員から、条例本文の文言選定の基準、条例の内容、条例制定に向けての市の考え方・姿勢、教育委員の関わり方など、細部にわたり計21問の質問が出され、かつてないほどの活発な質疑となりました。

この「子ども条例」は、12月20日の議会最終日における議案採決でも議員間で反対・賛成の討論が行われました。条例に反対の意見としては、「理由は3点。1、この条例には加える文言がいくつか欠落している、特に子どもの体力向上に関する文言。2、条例の普遍性を求めるばかりに、現在の問題・課題に対する踏み込みが足りない。本来条例は、市民誰もが読んでわかりやすい言葉で盛り込んでいくべきである。3、条例には普遍性が求められる面もあるが、変更が必要になれば変えていく柔軟性も求められる。3年後の見直し等を明記する方法もあった」というもので、対する賛成の意見は、「この条例は、市全体で、たくましく、やさしい、夢のある子どもを育むといった、茅野市の姿勢を示した基本条例であること。条文の中には、子どもの施策に関する考え方が全て総合的に盛り込まれている」というものでした。

最終的には賛成多数により、この「子ども条例」は可決されました。

常任委員会報告

12月定例会で審査された議案等の一覧は、6ページをご覧ください。

予算決算委員会

12月13日開催 委員長 野沢 明夫

補正予算2議案可決

12月定例会において予算決算委員会にて審査した案件は、議案2件でした。

議案第86号は、平成24年度茅野市一般会計補正予算(第7号)について、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5億755万円を追加し、歳入歳出それぞれ237億5002万7千円とするものです。

補正額の主なものは、土地開発公社から公有財産を買い取るための費用約2億円と、人件費の補正約3億円です。人件費の補正は、退職者が増加したことによるものです。

討論はなく、全会一致で原案のとおり可決されました。

議案第87号は、平成24年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第

総務文教委員会

12月17日開催 委員長 細川 治幸

4条例案を慎重審査

12月定例会において総務文教委員会にて審査した案件は、議案4件でした。

議案第81号は「茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例について」です。

これは、子ども及びその家庭を支援し、応援することについて、基本理念を定め、安心して子どもを生み、または育てることができ、かつ、子どもが健やかに成長できる環境を整備し、もって子どもの未来に夢や希望が持てる社会の実現に資するために、条例を制定するもので、平成25年1月1日施行です。

委員からは、「この条例を、既にある『第2次茅野市こども・家庭応援計画どんぐりプラン』の裏付けとして作ることとはどのような考えからか」との質問があり、市側からは、「茅野市のまちづくりは『パートナー

2号)についてです。歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ238万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ54億4093万9千円とするもので、人件費の増加に伴う補正予算です。

質疑・討論はなく、全会一致で原案のとおり可決されました。

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第82号は「茅野市暴力団排除条例について」です。

これは、暴力団の排除について、基本理念を定め、並びに市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、暴力団の排除に関する施策の基本となる事項等を定めることにより、暴力団の排除を推進し、もって市民の安全で平穏な生活を確保及び社会経済活動の健全な発展に寄与するための条例を制定するものです。施行日は、平成25年4月1日です。

委員からは、「他の自治体で条例を出したところ、飲食店関係の人が脅しを受けたようだが、茅野市ではそのような問題発生を考えているか。また、発生したときの対応はこの質問に対して、市側からの回答は「飲食店関係の対応は県の条例に含まれており、問題が発生した場合は、県と協議をしながら対処していく」というものでした。

また「第7条の、公の施設の利用制限で『市は許可しないこと・取り消すことができる』という規定となっているが、それはなぜできるのか」という質問に対しては、「県条例も同じ表現となっていること、公の施設は原則利用させることが前提であり、公の施設を利用することを拒んではならないため、市は許可しないこと・取り消すことができる」という表現としてある。規定とし



どんぐりプラン(ダイジェスト版)

シブのまちづくり』という手法で、実践する提言集団を設立し、行政計画を作り、そして条例を作っていくというこで進めてきている。今回のこども家庭応援の分野においても、平成14年に第1次どんぐりプランを作り、平成22年には第2次計画を作り、ここの条例を公布・施行していくということを進めた」との回答でした。

また「総合条例の位置づけということだが、どんぐりプランを担保することに特化してしまうと、施策の内容が狭い範囲に限られてしまうのではない」との質問に対しては、「今回、市民の皆さんと行政の役割分担をはっきりさせ、どんぐりプランだけでなく、読書計画、食育計画、健康づくりプラン、福祉21ビーンズプランなどの個別行政計画も含めながらこの条例を策定しており、広くまちづくりへの道筋を現わしている」という回答でした。

では「許可しないこと・取り消すことができる」となっているが、暴力団の活動だと認めたときには、実質的には許可しないものと解釈している」との回答でした。

また、第7条の解釈としては「市民の文化活動を制限するものではなく、暴力団が使いたいときの対応を謳っており、暴力団が利用する場合には貸さないということである」との説明でした。

当委員会では慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました

議案第83号は、「茅野市地区コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例について」です。

これは、ちの地区コミュニティセンター体育館、長峰中学校校庭の照明及び運動公園陸上競技場の使用料を改訂し、並びに運動公園マレットゴルフ場の使用料を新たに規定するために条例を制定するもので、施行日は平成25年4月1日です。



ちの地区コミュニティセンター

茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例(前文)

私たち市民は、次代を担う子どもたちが、『少しの困難にあってもへこたれない、たくましく生きる力を持った子ども』命を大切に、相手のことを思いやれるやさしい心を持った子ども』一人ひとりが自分の夢を持って、それに向かって努力する子ども』に育ってほしいと願っています。

そのために、私たちは、子どもたちが茅野市の豊かな自然と文化の中で様々な体験を積み、人と人との交流を通じてお互いの個性を認め合い、生きる力と感謝の心を育んでいくことを応援します。

さらに、子育てに責任を持って関わることで、親や周りの大人も成長し、大きな喜びや感動を得ることが大切なことだと考えます。

すべての市民が、安心して子どもを生み育てることができるまちづくり、少年・少女時代を過ごせてよかったと思えるまちづくりを進めます。

ここに、茅野市民の宝である子どもたちが、『たくましく、やさしい、夢のある子ども』に育つことを願い、この条例を制定します。

委員からは、「市民の施設利用時の負担の方向性の質問に対し、市側からは「誰もが必要とし生活に欠かすことのできない施設と、特定の人が必要とする施設を分けて考え、施設を利用する人利用しない人の公平性も考えなくてはいけない。公平性を考えたときに、使用料は、その受益の度合いによってきちんと負担の強弱をつけていかなければならない」との回答でした。

また、「この見直しの中に、減額・免除についてはなかったが、これは今までどおり変わらなくて良いのか」との質問に対し、市側からは「減額・免除については今回基本的な部分は変わっていないが、今後関係する審議会等で検討していくこととなっている」との回答でした。

当委員会では慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第85号は「茅野市債権管理条例について」です。

これは、債権の管理に関する事務の処理について必要な事項を定めることにより、債権の管理の一層の適正化及び効率化を図り、もって公正かつ円滑な行政運営に資するために条例を制定するものです。

当委員会では、質疑・討論はなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

社会環境委員会

12月17日開催 委員長 伊藤 玲子

12月20日より

委員長	伊藤 玲子
副委員長	北沢 千登勢
委員	小松 一平
委員	樋口 敏之
委員	堀 晃

議案及び陳情を 長時間にわたり審査

12月定例会中に伊藤眞智子議員が逝去され、堀晃議員が新たに副議長に就任されました。堀議員はそれまで社会環境委員会の委員長を務めておられましたが、茅野市議会の申し合わせにより委員長職を辞任されました。それを受け、12月20日に委員会の正副委員長人事を行い、新たに、私、伊藤玲子が委員長、北沢千登勢議員が副委員長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

12月定例議会において当委員会でも審査した案件は、議案7件、陳情2件です。

議案第75号は、「公の施設の指定管理者の指定について」です。

これは、公の施設である茅野市養護老人ホーム寿和寮について、現在の指定期間が、平成25年3月31日をもって終了するため、地方自治法第244条の2第3項の規定により、新たに指定管理者を指定し、同条第6項の規定に



茅野市養護老人ホーム寿和寮

より議会の議決を求めるものです。

委員からは、「指定管理を社会福祉法人平成会にお願いするにあたって、事業計画書の中に今後の構想として、地域包括ケアの一端を担える場所として考えていきたいとあるが、具体的にはどのようにお考えなのか」との質問があり、市側からは、「定期巡回型の随時対応の訪問介護看護、あるいは配食サービスをやっていききたい。特に配食サービスについては、施設の調理室があることから、週に一度の予定で地域の高齢者の方にお越しいただき、お昼を食べていただくことも考えていきたい」との回答でした。

また、今後も指定管理を続けていくかどうかの質問に対しては、指定管理で今後も継続していくとのことでした。

緊急時対応について、特に夜間の職員体制の質問があり、市側の回答は、「夜間はどうしても寿和寮に限らず手薄になることは否めないが、年2回総合防災訓練を必ず実施し、その訓練の中でマニュアルを作っていただき、

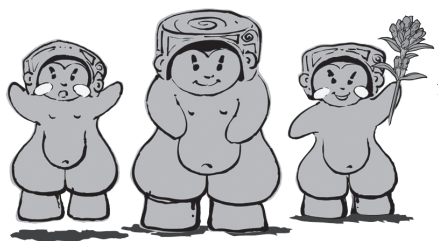
あるかもしれないが、諏訪南行政事務組合でやっているもので、ここで良い悪いの話ではない」「国の安全処理のガイドラインに従って、それを尊重すべきである」「陳情書の細部の説明について、インターネットのアクセス先のみでの掲示なので、しっかりと資料を付けていただきたかった」などの意見がありました。

当委員会としては、慎重審査の結果、全会一致で不採択すべきものと決しました。

陳情16は、「安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書」です。

この陳情の趣旨は、「介護報酬の緊急再改定」「介護保険料と利用料負担の軽減」「生活援助の時間短縮の見直し」「介護職員の処遇改善」の4点について、意見書の決議を求めるものです。

委員会では、「介護現場の労働条件改善のようなタイトルであれば良かった」「介護労働者の平均賃金と全産業平均を比較しているが、年齢や勤続年数も関係するので、一概に同じに比較するのはよくない」「介護労働者は女性が多く、ある程度若い人、若くからずっとやっている方もいるが、子育てが終わってから資格を取って働き出している方もいる。そういった介護現場の特別な事情がある中で平均賃金が出てくると思うので、全産業平均と比べてこんなに安いというのは違うのではないか。これから介護保険料の平均月額もこのまま行ったらすごく上がってしまう。また、仕事に魅力がなく、ここに就かない若者がす



当委員会としては、陳情書の表題と陳情項目が連動していないことも踏まえ、慎重審査の結果、全会一致で不採択すべきものと決しました。

できるだけ適切な対応をとっていただくこと、また施設だけではどうにもできないこともあるので、地元のひばりヶ丘自主防災会との連携にもご協力いただき、また、逆にひばりヶ丘からの避難者も受け入れるということで、相互に行いながら対応していきたい」とのことでした。

議案第84号は、「茅野市税条例の一部を改正する条例について」です。これは地方税法第314条の7第1項第3号の規定により、市民税所得割から控除される寄附金を定めるためのもので、施行は公布の日からですが、この条例による改正後の茅野市税条例の規定は、平成25年度以降の年度分の個人市民税について適用し、平成24年度分までの個人市民税については従前どおりです。

当委員会では、慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

当委員会では、質疑・討論はなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第76号「岡谷市と茅野市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部変更について」から議案第80号「茅野市と原村との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部変更について」までの5議案は、茅野市と諏訪広域圏の5市町村との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する5議案同一の変更規定です。

これは、従来の諏訪6市町村間の証明書等交付業務に、新たに戸籍証明書を加えるもので、施行日は平成25年2月1日です。

5議案の一括質疑において、委員から「証明書等、交付等に係る、『等』は何か」の質問に対し、市側の回答は、「交付の他に、料金の授受、申請書の審査等がその部分に当たる」とのことでした。

当委員会では、慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

経済建設委員会

12月18日開催 委員長 大久保 功身

いちごパイプハウス を視察

12月定例会において経済建設委員会でも審査した案件は、議案1件でした。議案第74号は「市道路線の認定について」で、場所は玉川上北久保です。

これは、宅地造成に伴って既存の市道に接続させるために作られた道路を、道路法の規定により市道に認定するものです。

委員会では現地調査を行い、質疑・討論はなく、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

また、市道認定の現地調査のほかに、北山湯川の「農事組合法人湯川」を視察しました。

ここでは、市の補助事業である「園芸作物産地づくり支援事業」を活用し、パイプハウスによるいちごの栽培



市道認定の現地調査

議会運営委員会

副議長交代のため、12月21日より委員会構成が変わりました。

委員長	勅使川原 はすみ
副委員長	篠原 啓郎
委員	伊藤 玲子
委員	伊藤 勝
委員	小松 一平
委員	細川 治幸



農事組合法人湯川のいちごパイプハウス

を計画しています。品種は、信州大学で近年開発された秋夏いちごの「信大交配8・9」と呼ばれるもので、赤色が大変濃く、酸味・糖度もバランスが良いのがセールスポイントで、今年の3月頃から定植し、7月頃から出荷を開始したいとのことでした。

法人の皆さんは、「いい名前を付けた

12月定例会一般質問通告一覧

平成24年12月定例会の一般質問は、12月11日、12日、13日の3日間行われ、16人の議員から29項目についての質問が市側に出されました。

一般質問については、録画映像がホームページからご覧になれます。実際の質問の様子、市側の答弁について、ぜひ動画をご覧ください。

また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますのでご利用ください。

茅野市の課題を問う

WEBで検索茅野市議会検索

件名		要旨
篠原啓郎	1	平成25年度市政経営方針と予算編成方針について (1) 景気と人口と市民税の動向について (2) 財政力指数、将来負担比率等の指標について (3) 市債の償還計画について (4) 性質別経費について (5) 消費税増税と自主財源について
	2	鳥獣被害対策実施隊について (1) 初年度（平成24年度）の成果について (2) 実施期間など今後の計画は
北沢千登勢	3	障害の早期発見・早期支援と特別支援教育について (1) どんぐり手帳の活用状況と成果 (2) 母子通園訓練施設やまびこ園へ療育スタッフの配置 (3) 臨床心理士を職員として採用することについて (4) 副学籍制度の導入に対する考え (5) 茅野市における「特別支援教育」のこれからの取り組み
	4	縄文プロジェクト構想における「市民総学芸員化」について (1) 構想にある「茅野市のアイデンティティー」とは何か (2) 「市民総学芸員」の進め方と小中学校への働きかけ (3) 「縄文検定」合格者を今後どう生かすのか
両角昌英	5	空き家、空き地対策について (1) 市内の空き家（空き地）の実態調査と実態把握について (2) 空き家（空き地）の適正管理させる側としての行政の責務と対応策について (3) 管理条例の必要性について (4) 所有者に適正管理をしてもらう為に解体等に係る費用の助成について
	6	災害対策（防災）について (1) 市の災害対策本部と自主防災組織の連携について (2) 非常時に機能する女性を入れた防災会議及び災害対策本部組織の必要性について
樋口敏之	7	経済活性化の施策について (1) 平成25年度収入見通しについて (2) 各種事業補助金の継続・新設について (3) 産業振興ビジョン最重点事業について (4) 新たな歳入の創出について
野沢明夫	8	景観に配慮したまちづくりについて (1) 景観計画実施に伴う市民の声はどうか (2) 実施後の問題点と見直しの内容は (3) 市として屋外広告物条例を制定する基本的考え方は
	9	農業委員会について (1) 年間会議及び実務の内容 (2) 法律上「行うことができる」事務実施の有無及び実績 (3) 農業発展と農業者の地位向上に寄与するための農業委員会活用の方方法及び展望はあるか

12月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧										付託委員会 ○…賛成 ●…反対 欠…欠席 ※議長は採決には加わりません。		経…経済建設		総…総務文教		社…社会環境		予…予算決算			
	番号	件名	付託委員会	議決結果	北沢千登勢	伊藤玲子	宮坂武男	伊藤勝	篠原啓郎	小池賢保	望月克治	小松一平	樋口敏之	堀晃	大久保功身	勅使川原はすみ	細川治幸	野沢明夫	両角昌英	山岸正衛	伊藤眞智子
市長提出議案	73	平成24年度茅野市一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	74	市道路線の認定について（玉川上北久保地籍）	経	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	75	公の施設の指定管理者の指定について	社	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	76	岡谷市と茅野市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部変更について	社	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	77	諏訪市と茅野市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部変更について	社	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	78	茅野市と下諏訪町との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部変更について	社	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	79	茅野市と富士見町との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部変更について	社	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	80	茅野市と原村との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託に関する規約の一部変更について	社	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	81	茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例について	総	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	82	茅野市暴力団排除条例について	総	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	83	茅野市地区コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	84	茅野市税条例の一部を改正する条例について	社	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	85	茅野市債権管理条例について	総	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	86	平成24年度茅野市一般会計補正予算（第7号）について	予	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	平成24年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	予	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	14	茅野市における震災瓦礫処理についての陳情書	社	不採決	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	15	地球社会建設決議に関する陳情書		議場配布																	
	16	安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書	社	不採決	●	●	●	○	●	欠	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●
議	11	茅野市農業委員会委員の推薦について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決日は12月20日の議会最終日（議案第73号は11月29日の開会日に即決）、伊藤眞智子議員は12月14日にご逝去、小池賢保議員はご家庭にご不幸があり、議会最終日を欠席。																					

12月定例会 陳情審査結果

■ 陳情14 茅野市における震災瓦礫処理についての陳情書 【委員会 不採択】【本会議 不採択】

■ 陳情15 地球社会建設決議に関する陳情書 【市議会の権限外の事項を願意とするもの 議場配布】

■ 陳情16 安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書 【委員会 不採択】【本会議 不採択】

陳情14は、社会環境委員長報告（4・5ページ参照）に全会一致で賛成という形で不採択。

陳情15は、議会運営委員会に諮った結果、常任委員会には付託せず、議場配布。

陳情16は、社会環境委員長報告（5ページ参照）を受け、賛成・反対の討論が行われました。

陳情を採択すべきとする意見としては「労働条件等々だけでなく、保険制度の財政面・運用面まで含まれていると思うので、陳情のタイトルはこのままでよい。介護の時間が60分から45分に減らされ、機械的に決められたことしかできない介護になってしまう。政権が変わり様子を見てからとあるが、現状のままという可能性もある。現状で介護保険制度に改善を求められている以上は、地方議会としてその声をしっかりと国に届ける必要がある」というもので、不採択すべきとする意見は、「介護現場の不合理的改善を求めている陳情で、表題と陳情趣旨・陳情項目に整合性がない。委員会では陳情趣旨を重んじ、内容に即した表題で、議員提出議案により意見書をといた意見もあったが、ここで不採択した陳情の意見書と類似したものを出すのは、市民に対して混乱を招くという意見もあり、提出するならば3月定例会以降という見解で委員会では一致した」というものでした。

採決の結果、賛成少数で陳情16は不採択となりました。

件 名			要 旨
堀 晃	23	自然環境保全及び生物多様性の確保と観光立市の関係について	(1) エコツーリズムの実態と目標はどのようなですか (2) 冷山の黒曜石と遺跡の保存はどのようにしますか (3) 希少野生動植物、ハヶ岳特有動植物の現況はどのようなですか、また保護のためにどんな手立てをしていますか (4) 運動公園の日本リスは減っていませんか (5) 高地トレーニングの拠点づくりに力を入れますか
	24	体験入学受入事業の成果について	(1) 成果と反省点は何か (2) 今後の取り組みは (3) 開かれた学校へとどう結びつけるか
	25	保育園民営化移行への課題について	(1) 現在の滞納状況とその対応、また民営化移行後の滞納の対応はどうか (2) 園児の使用する園児服や持ち物等を地元業者を利用して購入できないか
大久保 功身	26	宮川地区コミュニティセンター駐車場の利便性の考えについて	(1) 改修の考え方はあるのでしょうか
	27	危機管理室の職員体制と庁内連携について	
小池 賢保	28	「地域まちづくり」について	(1) 地域において、市民、民間団体、事業者等と行政が協働して取組んだパートナーシップの実績はあるか (2) 市と市内10地区が直接連携を取るしくみはあるか (3) 「(仮称) 地域未来まちづくり基金」による地域住民の発想を生かすための基金創設の考えはあるか
望月 克治	29	森林整備の方向性について	(1) 路網調査の進捗状況 (2) 路網整備の進め方 (3) 路網の規格 (4) 搬出される木材の利活用について

ご覧ください
会議録

会議録検索システム

を利用して会議録を検索！

茅野市議会の会議録(本会議・一般質問)については、茅野市公式ホームページ上から、その発言の全てをご覧になることが出来ます。

茅野市ホームページ → 茅野市議会 → 茅野市議会会議録検索システム

- お探しの会議録を画面上で閲覧できます。(平成7年1月臨時会以降の本会議会議録が登録されています)
- キーワード(ことば)・発言者で検索できます。
- より詳細な条件で検索することもできます。
- 汎用性を考慮して JIS 第2水準までの漢字で構成されています。このため人名、地名等が実際の会議録と一部異なる場合があります。正しい文字については、市役所行政資料室・図書館本館(分室を除く)・各出張所に備え付けの会議録冊子をご覧の上ご確認ください。
- この会議録の内容は、すべてテキストデータで登録されているため、表組等、体裁が一部実際の会議録と異なる場合があります。
- 本システムのデータ更新は、各定例会及び臨時会の閉会后、おおむね3か月程度を予定しています。
(実際の会議録が調製された後に更新作業を行うため)

WEBで検索 茅野市議会会議録 検索

件 名			要 旨
細川 治幸	10	男性介護者の現況と支援策について	(1) 市単位で男性介護者の集まりをつくりネットワークを広げることについて (2) 介護と仕事の両立、老老介護による事件等介護から派生する新たな社会問題を解決してゆくために市総体で支える仕組づくりについて
	11	「金融円滑化法」利用の中小企業対策について	(1) 市内における利用企業の現況について (2) 2013年3月末にむけ金融機関による支援体制の動向について
	12	被災地被災者の支援策について	(1) 絆プロジェクト第3弾について (2) ふくしまっ子の受入事業について
山岸 正衛	13	敬老祝い品について	(1) 今までに要望・苦情等がありましたか (2) その対応については、どうしたか (3) 今後の継続については、現状通りですか
	14	森林整備について	(1) 改正後の間伐状況はどうか (2) 路網調査の結果は、搬出間伐に生かすことが出来るのか (3) 個人対象の市単独の補助制度を設けることはないか
伊藤 玲子	15	空き家対策と可能な空き家の有効活用について	(1) 空き家の適正管理のための取り組みについて (2) 地域資源である空き家の有効活用について (3) 空き家活用を推進する市の取り組みについて (4) 空き家対策と有効活用を市のプランに取り入れる考えは
	16	「縄文ふるさと大使」の市民版について	(1) 「縄文ふるさと大使」の市民版の検討・実施の考えは
小松 一平	17	いじめ対策について	(1) 茅野市内のいじめの実態について (2) 茅野市のいじめ対策方針、取組事例とその評価について (3) 新たな取組みについて
	18	こども部設置の評価について	(1) 市民、保護者等から評価された事例について (2) 検討、改善を要すると考える事項について
勅使川原 はすみ	19	「(通称) 旧鎌倉街道散策路」の整備と歴史資源の活用について	(1) 現状での整備状況について (2) 安国寺から諏訪大社までの今後の計画的取り組みについて (3) 放置されたままになっている産業廃棄物の対応について
	20	茅野市読書教育(図書館活用教育)推進事業について	(1) 学校図書館活用教育推進事業のねらいと位置づけ (2) 評価と課題について (3) 今後の展開について (4) 学校長の図書館長としての位置づけと意義について (5) 事業推進における環境の充実と予算措置について
伊藤 勝	21	臨時・嘱託職員の待遇について	(1) これまでの改善状況及び今後の課題
伊藤 眞智子	22	国民健康保険について	(1) 平成24年度国保財源の現状と見通し (2) 国保特別会計への一般財源の繰入について (3) 市民の健康づくりの取組みや健診の充実について (4) 国保の広域化についての考えは

議員連盟活動報告

茅野市地域づくり政策研究会

所属議員

野 沢 明 夫 (代 表)
伊 藤 藤 子
伊 藤 勝 保 英 晃
小 池 賢 昌
両 角 昌
堀

本会では、豊かな地域コミュニティの構築のための推進・支援拠点であるべきセンターがうまく機能していないのではないかと認識のもと、端的に言えばコミュニティセンターの機能と組織を変える条例を作りたいと考えています。「茅野市地域組織運営条例」といったものになるかと思っています。

現在のコミュニティセンターは、行政の窓口業務の他、地区公民館、こども館を管理運営するとともに、地区社協、区長会その他の構成団体からなる運営協議会の事務局を担っています。しかし地域が求めることや、さらに踏み込んでやってほしいことなどは現在の職員体制で十分に対応できるか疑問が残ります。

政教分離の観点から行政職員が従事しないとした御柱の事務などは、地域が従前からセンターに求めている仕事です。制度組織を変えてその事務を取扱いてきようにすることは可能です。

既成制度や組織で対応するには限界があります。全く違った角度や視点で見直す必要があると考えます。

私たち議員連盟では、センターの持つ機能や仕事を再確認し、その問題点

や課題を明らかにするとともに、さらにセンターで「こんなことやってくれたらいいな」「こんなことできたらいいな」といった住民目線での夢を形にできる組織や制度にしたいと考えています。以上のような観点から、地域づくり政策研究会では左記のように懇談会を開催いたします。多くの皆様にご参加いただきご意見をいただければ幸いです。

(野沢明夫)

< 地域づくり懇談会開催のご案内 >

日 時 平成25年3月28日 午後7時
場 所 ちの地区コミュニティセンター会議室
募 集 地域づくりに提言のある方
定 員 30名程度
内 容 ワークショップ形式の懇談会
申込み 住所・氏名・年齢・職業・所属団体名をそえて下記までメールを
akky4241@po30.lcv.ne.jp
問合せ TEL 0266-77-2058 野沢明夫



ます。

体育協会との懇談会で、市への要望がたくさん出されていることを知りました。用具・器具類の充実を求めるものから、施設の改修・整備、新たなグラウンド・コート・館の新増築まで幅の広いものでした。そして、大きな大会運営に係る事項やスポーツツーリズムにまで及ぶものであります。



ランニング教室
(講師の話に耳を傾ける市民の皆さん)

市民の健康と体力の増進はみんなの願いであります。体育協会は「いい汗・いい友・明るい社会」をスローガンに掲げ、市民みんなが何らかのスポーツを行う運動を、スポーツ健康課とともに進めています。私ども「スポーツ振興議連」は、誰もがスポーツ活動に取り組み、いい汗を流しながら心身の健康を増進し、明るいまちづくりに繋げるための環境を整えることに力を入れようというものです。

第一の環境は、地域や学校、職場等でのスポーツの普及であり、第二の環境はスポーツを行う「場」の整備拡充であり

茅野市鳥獣被害対策議員連盟

所属議員

伊 藤 勝 (代 表)
藤 原 啓 郎 平 之 身 英 晃
篠 松 一 敏 功 昌 正
小 口 保 昌 正
樋 久 角 岸
大 角 岸
両 山

「鹿とは、被害対策とは、議連とは」
鹿は夜行性で主に薄明薄暮の時間帯に行動する習性からその実態を知る機会が少なく、鳥獣被害対策論を不思議に感じている方もおられるかと思ひ、今回は鹿を取り巻く環境と対策の必要性に触れてみます。

本来野生の鹿は、人目に付きにくい山中で食と育の生態をなしていて、人里に出てくることは少ない。しかし温暖化等の影響で生息数が異常に増加し、自らの数が食糧不足を招き、一方で森林の高齢化で下草や草原が減少し、餌不足に追い打ちをかけている。

鹿は新しい餌場を求めて農地や融雪剤が撒かれた道路沿いに進出し、農作物や融雪剤に含まれる塩分を格好の餌としたことが近年人里近くに出没するようになった原因と言える。

鳥獣被害の多くは増えすぎた鹿によるもので、農林業にとどまらず生態系や自然環境にも悪影響を与えている。鹿に餌場を奪われた国の天然記念物カモシカが人里に出没する事例や、ニッコウキスゲの保護対策等が被害を物語っている。

人への直接影響は交通網や排泄物による水源汚染などが心配される。この

⑦立派な運動公園があるが不足する施設が出てきた

⑧子どもの体力向上は急務であるなどが話し合われました。何らかの形に結び付けたいと思います。

大阪府の高校で、部活のキャプテンが顧問の体罰を受けた後に自殺したことが報道され、スポーツの指導のあり方が問われています。指導者の情熱・熱意で支えられていることは事実ですが、殴られて愛情を感じるものでしょうか。体罰のために「前途有為の若者」からスポーツを奪ってはならない。

(堀晃)

健康へ農業と観光をつなげる議員連盟

所属議員

篠 原 啓 郎 (代 表)
藤 坂 玲 武 子 男 勝 平 之 英 晃
伊 宮 伊 小 樋 一 敏 昌
小 樋 松 口 角
大 角 岸
両 山

私たちは、昨年健康をテーマに、茅野市の特徴が生かせる活動を議員連盟の課題として、「健康へ農業と観光をつなげる議員連盟」を立ち上げました。

この一年の活動は、4月に議員側から見た農業や観光の現状、行政側から見た農業や観光ビジョンに基づく現状などの課題を出し合い、各ビジョンを形あるものに近づけるための意見交換会を開催しました。

7月には、米沢北大塩の鹿対策、白樺湖遊歩道の整備状況、車山ニッコウキスゲ保護柵の現状等の現地視察を行い、白樺湖の現状や鳥獣被害が、観



鹿対策の電気柵

ような事態を受け、より強力な対策が求められている。現在の対策は、防護柵を張り巡らし農地への進入を防ぐ方法と、頭数を調整する方法を併用して進めている。

防護柵においては材料費を行政が支援し、地元の協議会等が設置と維持管理を行っていて、現在までに総延長38キロメートルの設置が進んだ。

一方、捕獲は行政と茅野市猟友会が協働で実施隊を編成、猟期と合わせ通年捕獲を計画した。今年の中間報告で昨年比2.3倍の成果を見込んでいる。捕獲は増えすぎた鹿社会の頭数調整に人が力を貸す、言い換えれば被害対策と同時に生態系保護の役割も考えた施策であり、捕獲に関わる方々は餌を求めて行動する鹿との攻防・知恵比べを山の中で行っていて、係る苦勞も努力も人目に付かないのが実態だ。

また、保護の立場では、先に述べた森林の高齢化や針葉樹林の増加で、餌となるドングリや栗などの樹木が減少したことを勘案し、根本に日光が届き、落葉樹と針葉樹がバランス良く育つ本来の豊で強い森林を取り戻すことも対策案として浮上している。

以上が鹿の生態と対策の概要です。

光・農業に与える影響の大きさを再認識いたしました。



豪雨災害現場を視察

また9月には鳥獣被害対策議連と合同で、7月28日北山柏原地区を中心に発生した豪雨災害で山肌が崩落した現場を視察しました。谷に沿った長さ1.5キロメートルの間で大小18箇所、崩落があり、最大崩落は長さ約300メートル、幅約100メートルでした。今回は、人命を失うことがなかったのが不幸中の幸いでしたが、山間地に多くの観光施設が点在している茅野市において、この災害で得た教訓を、観光・農業・林業の観点から、今後起こりうる「ゲリラ豪雨」に生かすための検証をし、市民生活と多くの観光客の皆さんをお迎えする観光地として、安全安心の「まち」を作って行かなければなりません。

これからも私たち「健康へ農業と観光をつなげる議員連盟」は視野を広く持ち、一つ一つ課題解決に邁進していきます。

(樋口敏之)

議員連盟活動報告

茅野市スポーツ振興議員連盟

所属議員

篠 原 啓 郎 (代 表)
藤 坂 玲 武 子 男 勝 平 之 英 晃
伊 宮 伊 小 樋 一 敏 昌
小 樋 松 口 角
大 角 岸
両 山

われわれ鳥獣被害対策議連7名は鹿被害が深刻な状況にあると捉え、現場の視察を通じ、鹿の習性や対策を研究しました。その結果、守りと攻めの両面から、行政の支援とプロ組織猟友会の力を借りることが効果的と確認し、対策が継続するよう働きかけ、安心して農業が営める環境整備を目指し努力しています。

(篠原啓郎)

終わりに、健康管理意識が高まっている今日、適度な農作業が健康維持に良いとの研究結果があることを添え、結びといたします。

市民の健康と体力の増進はみんなの願いであります。体育協会は「いい汗・いい友・明るい社会」をスローガンに掲げ、市民みんなが何らかのスポーツを行う運動を、スポーツ健康課とともに進めています。私ども「スポーツ振興議連」は、誰もがスポーツ活動に取り組み、いい汗を流しながら心身の健康を増進し、明るいまちづくりに繋げるための環境を整えることに力を入れようというものです。

第一の環境は、地域や学校、職場等でのスポーツの普及であり、第二の環境はスポーツを行う「場」の整備拡充であり

議会改革の進捗状況は？

茅野市議会では、地域主権時代にふさわしい議会運営、市民の目線に立った分かりやすくより開かれた議会の確立、議会の活性化を目指し、平成23年から議会改革の議論を重ねております。

初めに、全議員に対して議会改革についてのアンケートを行い、97項目の意見や要望が出されました。それらの内容を精査し、優先順位を付け、平成23年7月に立ち上げた「議会あり方検討委員会」で協議し、議会運営委員会に諮り、議会全員協議会で全議員の了承を得て実施しております。

すでに、実施したものとしては、議会の内容や議員の活動をより市民の方々に知っていただけるよう、昨年5月に議会の広報紙である「議会だより」を創刊し、年4回発行することとし、その紙面上で、議案等に対する各議員の賛否の公表も行うこととしました。



議会改革の記者発表を行う正副議長(平成24年8月22日)



塩尻市の議会報告会を視察

また、議会の一般質問において、従来議員が複数の質問を一括して行い、市側が一括して答弁していたものを、昨年9月定例会より質問ごとに答弁をする「一問一答方式」へ変更しました。このことにより、市側との議論を深め、より市民の方々に理解しやすい一般質問とすることができました。

その他に、議会全員協議会の毎月開催、会派制の導入も決めました。

現在、議会の内容や活動を市民の方々に直接報告する議会報告会の実施や、議員の倫理規定を策定するために、それぞれ委員会を設けて検討を進めております。

今後、常任委員会のあり方、審議会への議員の参画のあり方、議員定数などについても検討を重ね、より市民の皆さんに開かれた議会となるよう改革を進めてまいります。

計 報

伊藤眞智子議員が、平成24年12月14日にご逝去されました。享年65歳でした。

平成11年4月に初当選、社会環境委員会委員長、総務文教委員会副委員長、経済建設委員会副委員長等を歴任され、平成23年5月からは茅野市議会初の女性副議長を務められました。副議長として円滑な議会運営を行うとともに、議会改革にもご尽力されました。

また、福祉・医療・介護の問題にも精力的に取り組まれ、市政の発展に多大な貢献をされました。

謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。



編集室より

議会だより第4号は、12月定例会の内容を中心に編集いたしました。22日間の会期中に衆議院の解散総選挙が行われ、政権交代の大きな動きがありました。景気の悪化が直接私たちの生活にまで響いている今、新たなスタートを切った国政には景気回復を願う期待するところがあります。

さて、議会だより編集にあたっては、議員の一般質問に多くのページを使うことを避け、要旨のみの掲載としています。個々の内容については、新聞記事または、市ホームページからの録画映像をご覧いただくこととして、議会全体の動きをより多く載せることに重点を置き編集しています。

12月議会で特に活発な動きがあったのは、条例制定の議案を受け、かつてないほどの多くの議員による議場での質疑が重ねられました。議会だよりではそんなところもお伝えできればと思っています。

これからも市民の皆様にも更なる関心や期待を持っていただける議会となるよう議員一同努力してまいります。

議会だより編集委員会

副委員長 勅使川原はすみ

委員長 樋口敏之

副委員長 篠原啓郎

副委員長 勅使川原はすみ

委員 伊藤 勝

委員 大久保 功身

議会だより編集委員会